

五月一日 日曜日

朝、久し振りにTVをつけてみたが、余りの馬鹿馬鹿しさに呆れ返り、すぐ消してしまった。昼過ぎ、小さな自転車に乗って烏山センター前の植木市へ。今年のセンター前の植木市は出品数も少なく少々寂しい趣き。シソ、枝豆、サマーレタス、シシトウの苗を買い込み、屋上菜園に植えた。花より団子である。何もせず休む一日はやっぱり私には何とも言えぬ不安感をもたらせる。

中国の反日デモは中国国内の民衆のストレスの吐け口が日本に向けられたというのが真相か。都市間、更には先年実験した農村と都市との経済格差に対する中国国民の不満。そして中国政府の情報管理体制に対する不満が、仮想目標としての日本に向けて噴き出したものではないか。中国政府が反日デモ、暴力行為をコントロール出来ぬ現実を改善出来ぬならば、第二、第三の天安門事件に発展する可能性すらあり得るだろう。インターネットに主導された反日運動の実体は、すでに中国共産党政府の古い水準の情報操作がITの煽動力、速力に追い付く事が出来ぬ現実を示しているのではないか。昨夜、李祖原が来日した。明日早朝からCEMAプロジェクトの打合わせを詰めるスケジュールに入る。中国の反日デモの動きがプロジェクトにどう反映してくるのか、今は何とも言えぬ。

五月二日

七時頃起床。昨夜はイヤになる程眠った。郵便ポスト迄ねぼけ

眼で足を運び新聞を読むも、読む記事が無い。事件、事故、戦争の合い間の生活になっている様な気もするが、こんな時にこそ、書かれるべきモノがある様な気もするが、気もするが気もするがの連続で何ともさえない朝である。

十時研究室。李祖原ミーティング。CEMA計画。中国の対日抗議デモ等でスケジュールは変更せざるを得ないが、ここのヶ月の予定を組む。午後、幾つかの打合わせ。十九時六本木、レストラン五穀。磯崎アトリ工網谷さん、久し振りにお目にかかった堀氏と会食。少し遅れて磯崎さん。李祖原と歓談。春の終わりに上海で、バウハウスの連中を交えた小さなミーティングを持つ事、そのアレンジを李祖原(CY・LEE)が受け持つ事を約して散会。二十四時前世田谷村に戻る。